令和７年度

（2025 年 6 月～2026 年 5 月）

天元台高原　索道安全報告書

【株式会社天元台・索道事業内容】

・天元台ロープウェイ　　（複線交走式普通索道）　　＊通年運行

・しらかばロマンスリフト　（単線固定循環式特殊索道）＊通年運行

・しゃくなげロマンスリフト（単線固定循環式特殊索道）＊通年運行

・つがもりロマンスリフト　（単線固定循環式特殊索道）＊通年運行

TREKKING&SKI

天元台高原

安　全　報　告　書

１．お客様各位

はじめに、令和７年度の営業状況並びに輸送の安全確保に関する取り組みについてご報告申し上げます。

令和７年度は、自然・アクティビティへの需要が高まる中、国内のお客様に加え、台湾を中心とした外国人旅行者のご利用も増え、天元台高原の新たな利用層の広がりが見られた年度となりました。一方で、強風や荒天など山岳特有の気象条件により、索道の運行判断を迫られる日も多く、安全を最優先とした営業に努めました。

夏山営業は、前年度の残雪による冬山営業延長の影響から通常より遅いスタートとなりましたが、登山・トレッキング利用を中心に営業を行いました。7 月・8 月は比較的天候に恵まれた一方、9 月以降は雨天や強風による運休が頻発し、イベントや一般利用にも影響が生じました。運休時には安全確認を徹底するとともに、状況に応じて代替輸送や迅速な情報発信に努めました。

冬山営業は、11 月 21 日に冬山安全祈願祭を執り行い、十分な積雪を待って営業を開始しました。12 月以降は安定した降雪に恵まれ、年末年始には多くのお客様にご利用いただきました。
1 月は強風を伴う荒天による運休が相次ぎましたが、2 月以降は比較的安定した営業を行うことができました。春季は気温上昇や降雨による融雪が進み、雪面・施設状況を確認しながら安全な営業に努めました。

また、冬季には台湾からの団体旅行をはじめ、樹氷観賞を目的とした新たな利用も見られました。利用形態の多様化に対応しながら、索道施設の安全運行を最優先に、日常点検、運行管理及び利用者への安全案内の徹底に努めました。

今後も、安全運行を経営の最優先事項とし、日常点検・定期検査を確実に実施するとともに、従事者の教育・訓練、気象情報の活用、施設設備の適正な維持管理を通じて、皆様に安心してご利用いただける索道事業の運営に努めてまいります。

株式会社 天元台

代表取締役社長　山口　隆

２．基本方針と安全目標

（1）基本方針

当社の経営理念の第一は「安全第一」です。事故を起こさないという強い意識を持ち、安全管理規程に従って索道施設の安全運行に努めます。そのため、代表取締役社長以下すべての従業員に安全基本方針を周知・徹底し、輸送の安全確保に全力を尽くします。

① 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。

② 輸送の安全に関する法令及び関係規程を十分に理解し、これを遵守して厳正かつ忠実に職務を遂行します。

③ 常に輸送の安全に関する状況を把握し、情報共有に努めます。

④ 職務の実施に当たっては推測に頼らず確認を励行し、疑義のある場合は最も安全と考えられる取扱いを行います。

⑤ 万一、事故・災害等が発生した場合は人命救助を最優先に行動し、速やかに安全かつ適切な措置を講じます。

（2）安全目標

お客様に安全・安心・満足いただけるサービスを第一義とし、安全運行に資する教育・研修・訓練を積極的に実施して、従事者一人ひとりの技量向上と安全輸送の徹底を図ります。

令和７年度は特に、以下を重点項目として取り組みました。

①基本動作と指差確認の徹底

②異常時・非常時対応能力の向上

③施設設備の不具合の早期発見

④気象情報の的確な把握と運行判断

⑤部門間の迅速な情報共有

３．シーズン中の事故・トラブルについて

（1）索道運転事故

ありませんでした。

（2）インシデント（事故の兆候）

重大なインシデントとして報告する事案はありませんでした。

（3）行政指導等

重大な行政指導等はありませんでした。

（4）災害・異常気象等

強風・荒天時は安全を最優先に索道運休・営業休止の判断を行い、ホームページ、SNS、現地案内等による情報提供に努めました。

運休・休業日数については、令和 7 年度の索道運転日報・営業記録に基づき最終確認のうえ記載します。

（5）その他の安全上の事案

朝のミーティング、無線連絡、安全確認、圧雪、パトロール点検、試走、ネット設置等の手順を明確化し、安全管理体制を見直しました。

４．輸送の安全確保のための取り組み

1　関係法令・安全管理規程の遵守

ロープウェイ・リフトの運行について、鉄道事業法その他の関係法令及び安全管理規程に基づき、施設設備の点検・検査、運行状況及び作業内容の記録を適正に行い、関係機関への報告・監査等に対応できる管理体制の維持に努めました。

2　教育・習熟訓練の実施

安全運行管理の徹底を図るため、索道従事者を対象として安全講習会、救助訓練、予備原動機操作訓練及び各種習熟訓練を実施し、個々の技量向上と従事者間の技術共有に努めました。

3　索道救助訓練

6 月及び 11 月を基本として、公設消防機関等の指導・協力を得ながら、非常救助用具を使用した実践的な救助訓練を実施し、万一の事故・故障時に安全かつ迅速に対応できる体制の強化を図りました。

4　点検・検査と予防保全

日常点検、月例点検、定期検査及び法定検査を計画的に実施し、結果を速やかに記録・報告しました。不具合や劣化箇所については優先順位を付けて整備・修繕を行い、施設設備の延命と事故防止に努めました。

5　設備取扱いの標準化

施設設備の取扱説明書、作業手順及び注意事項の共有を進め、操作不備や確認不足による事故防止に努めました。

6　外部研修への参加

メーカー、関係団体及び同業組合が開催する研修会・講習会に職員を参加させ、専門知識及び保守管理技術の習得を図るとともに、その内容を社内で共有しました。

7　異常気象時の対応

強風等によりロープウェイが運休した場合は、道路状況と安全性を確認したうえで、必要に応じて夏季は車両、冬季は客席付き圧雪車等による代替輸送を行い、お客様の移動手段確保に努めました。

8　気象情報の活用

気象予報情報を活用し、強風や荒天が予想される場合の早期判断と情報提供に努めました。運行可否の判断に際しては、安全を最優先とし、関係部署間で情報共有を行いました。

9　老朽施設への対応

施設設備の経年劣化が進んでいることから、日常の取扱い・保守管理をより丁寧に行い、修理・改修が必要な箇所は所有者である米沢市及び関係機関と協議しながら、重大な故障や運行支障に至る前の対応に努めました。

5．安全管理体制の強化

令和７年度は、索道施設の安全運行を確保するため、全社員を対象とした安全衛生研修、職場巡視、リスクアセスメント及び作業手順の確認を継続しました。また、部署間の無線連絡や緊急時の対応手順を再確認し、安全管理体制の充実に努めました。

また、毎月の全体会議等において営業状況、気象情報、安全上の課題を共有し、異常や危険箇所を早期に報告する体制づくりに努めました。今後も「事故を起こさないための予防」と「万一発生した場合の迅速な初動」の両面から、安全管理の実効性を高めてまいります。

【安全確認の基本的な流れ】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
朝ミーティング	現場・気象確認	圧雪・整備	パトロール点検	試走	安全設備設置	営業開始判断

6．今後に向けて

天元台高原は、標高差の大きい山岳地にロープウェイ・リフトを有し、強風、降雪、雷、気温変化など自然条件の影響を直接受ける施設です。加えて、設備の経年劣化や利用形態の多様化、外国人旅行者の増加など、安全管理を取り巻く環境も変化しています。

令和８年度以降も、施設設備の計画的な維持管理と更新、従事者の技術継承、訓練の充実、外国人利用者を含む分かりやすい安全案内、気象情報を活用した早期判断を進め、地域の皆様、お客様及び関係機関から信頼される安全な索道事業を目指してまいります。

安全に関するご意見・お問い合わせ

〒992-1461　山形県米沢市大字李山 12118-6

株式会社 天元台

TEL 0238-55-2236　FAX 0238-55-2127

https://www.tengendai.jp　　E-mail: info@tengendai.jp